

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	2251 東丸之内小田線他1線道路改良事業	会計		
基本	50 市内道路網を機能的に強化する	項		
目		細目		
細目		細々目		
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード 190500 名称 産業建設部建設1課	担当者氏名	山本 昇	連絡先 43 - 2323 (内線) 236

**事務事業の概要 (Plan)**

**【全体事業計画】**

対象(誰を、何を)	市民等、特に統合幼稚園・芭蕉記念館への道路利用者	※対象件数
成果(どうする)	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路として利用しやすくなる。	
根拠法令・要綱等	道路構造令、アスファルト舗装要綱	
開始年度	平成 23 年度	関連事業
終了年度	平成 25 年度	
事業概要	国道25号方面から統合保育園・芭蕉記念館までを結ぶ路線であり、一部区間で道路幅員が狭小で視距が悪く大型バス等のすれ違いができない状態である。統合保育園が開園され、また、芭蕉記念館が開館すると、朝・夕のラッシュ時に交通停滞が発生し市民生活に支障を与える恐れがあるため、道路改良を行い問題の解消を図りたい。 事業概要 延長300m 道路幅員W=7.0m	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地	伊賀市 東丸之内 地内	1 運営主体	民間委託等
2 建設面積	計画延長L=300m	2 配置(予定)人員	人
3 規模・構造	道路構造令第3種4級(W=7.0m V=40km/h)	3 年間運営費(見込)	千円
4 総事業費	161,000 千円	4 年間収入(見込)	千円
		5 市内の類似施設	

**【検証指標】**

活動指標	指標名	単位	目標値			
			現状値 H21	H22	H23	H24
	測量設計延長	m			300	
	道路改良延長	m				100

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	目標値			
				現状値 H21	H22	H23	H24
	道路整備による作業進捗	事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める(執行済事業費/総事業費)	%			13	57

**【投入コスト】**

投入コスト	H22 所要額		H23 所要額		H24 所要額		H25 所要額	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)		20,000	41,000	100,000				
Aの財源内訳								
国庫支出金		11,000	22,550	55,000				
県支出金								
地方債		8,550	17,500	42,700				
その他								
一般財源		450	950	2,300				
事業投入人件費 (B)	1人	10,800	10,800	10,800				
フルコスト(A)+(B)	0	30,800	51,800	110,800				

**【事務事業企画の背景、状況変化見通し、市民意見等】**  
 この事務事業を新たに企画した背景は何か？  
 国道25号方面から統合保育園・芭蕉記念館までを結ぶ路線であり、一部区間で道路幅員が狭小で視距が悪く大型バス等のすれ違いができない状態である。  
 この事務事業を取り巻く状況(対象や根拠法令等)は、今後どのように変化していくか？(見通し)  
 生活道路を整備し、より安全に道路を利用することができる。  
 この事務事業に対して関係者からどのような意見や要望が寄せられているか？  
 本市道については、特に朝夕の混雑が激しく、整備が望まれている。  
 本事務事業は、どのような状態になれば完了とみなす(休止・廃止となる)か？また、その目安はおおよそ何年後か？  
 本事業は平成25年度末を事業完了予定年度とし、延長300mの道路整備を行う。

**【事前評価】**

該当項目に○をつけてください。		【特記事項】
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	○
有効性	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事務事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
効率性	事務事業を実施しない場合の市民への影響は大きい。	【根拠】
	基本施策の目的を実現するために事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	○ 生活道路を整備し、より安全に道路を利用することができる。
	社会経済情勢・市民ニーズなどから、緊急性は高い。	【直ちに着手・実施しなければならない(先延ばしできない)理由】
効果性	事務事業の対象・成果の設定は妥当である。	【根拠】
	事業費や整備後の管理経費の算定にあたって、コスト削減策を考えている。また、将来のコスト増要因について対策を考えている。	【具体的内容】
	受益と負担の公平性が考慮されている。	【根拠】
	本事務事業と類似の目的・手段をもつ事業がある。	【事業名称 今後どのように連携して成果向上を図るか】
持続性	本事務事業の企画に際して、代替案を検討した。	【比較検討結果】
	本事務事業の実施にあたって、廃止又は統合する事業がある。	【事業名及び削減される一般財源額】
	コストに見合った効果が見込める。	○ 【根拠】 移動時間の短縮により広域ネットワークの構築、さらに地域社会の発展・活性化につながる。
	将来的に民間等への移管が可能である。	【いっごう】

担当課長氏名 **事業実施に対する担当課長の意見**  
 北山 太加視 国道25号方面から統合保育園・芭蕉記念館までを結ぶ本路線は、一部区間で道路幅員が狭小で視距が悪く整備が必要であり、計画通り進めることが妥当であると考えます。